

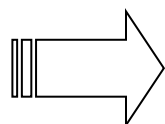
1 教科が複数科目に細分化！

授業科目が増加＝テスト科目が増加！

◆教科数の違い

中学生

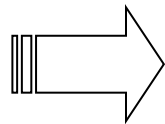
英語



高校生

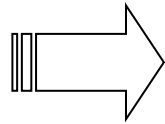
- ・論理・表現
- ・英語コミュニケーション

数学



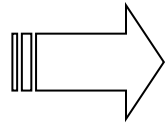
- ・数学Ⅰ ・数学A
- ・数学Ⅱ ・数学B
- ・数学C
- ・数学Ⅲ（理系のみ）

国語



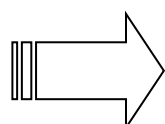
- ・現代の国語 ・言語文化
- ・論理国語 ・文学国語
- ・国語表現 ・古典探究

理科



- ・物理基礎 ・物理
- ・化学基礎 ・化学
- ・生物基礎 ・生物
- ・地学基礎 ・地学

社会



- ・地理総合 ・地理探究
- ・歴史総合 ・日本史探究
- ・世界史探究
- ・公共 ・倫理
- ・政治 ・経済

1教科が複数科目に
内容も深く、難しく！



◆時間割の違いの例

中学生

	月	火	水	木	金
1限	英語	体育	国語	美術	技術
2限	国語	英語	数学	社会	家庭
3限	数学	音楽	理科	体育	国語
4限	体育	総合	英語	数学	理科
5限	社会	理科	総合	英語	数学
6限	理科	社会	総合		

入試に関する授業：週18時限

高校生

	月	火	水	木	金	土
1限	古典	芸術	数学	地学	世界史	土曜 補習
2限	数学	現社	現代文	英語表現	芸術	
3限	英語	保健	英語コミュ	情報	数学	
4限	体育	数学	芸術	英語コミュ	現社	
5限	世界史	地学	古典	体育	古典	
6限	英語コミュ	現代文	体育	数学	数学	
7限	家庭	英語表現	総合	現代文	HR	

入試に関する授業：週24時限

中学では同日に同じ教科を習うことは減多にありませんが、高校生になると同じ科目、例えば「数学Ⅰ」と「数学A」が時間割に組み込まれるということも少なくありません。もちろん、英語や国語も当然、日々の予習・復習の内容が多くなり、中間・期末テストの科目も増え試験の準備も大変になります。授業の内容も難しく、特に苦手な科目は、先生に質問したり、塾の授業を受けたりしないと、自学自習だけでは学校の進度に着いていけなくなりがちです。

高校生と中学生の違い（続き・・・）

テスト回数が増加！！

◆年間テストの回数の違いの例

1年生の1学期はイベントなども多く、テストもあまりありませんが、油断大敵！
2学期以降はテストの回数がどんどん増えていきます。2年生になるとテストがさらに増え、3年生ともなると月に2～3回ということも珍しくありません。

中学生

4月	確認テスト
5月	
6月	定期テスト
7月	確認テスト
8月	確認テスト
9月	定期テスト・確認テスト
10月	確認テスト
11月	学力診断テスト
12月	定期テスト・確認テスト
1月	確認テスト
2月	定期テスト
3月	

※ある中学3年生のテスト予定。

高校生

4月	
5月	1学期中間テスト
6月	一斉テスト
7月	1学期期末テスト 校外模試（県模試）
8月	課題テスト（一斉テスト）
9月	
10月	2学期中間テスト 校外模試（HL模試）
11月	校外模試（県模試）
12月	2学期期末テスト
1月	課題テスト（一斉テスト） 校外模試（県模試）
2月	校外模試（HL模試）
3月	学年末テスト

※ある高校1年生のテスト予定。

上の表に載っているもの以外でも、定期テストと定期テストの間に小テストが行われたり、2月上旬に校外のマーク模試を実施したりすることもあります。また中間考査が終わった2週間後に実力テスト、そのまた2週間後に期末テストというスケジュールもよくあります。

また、前述した通り1教科が複数科目に分かれるため、テストの日程も増えます。

◆定期考査の日程の違いの例(中学2年生と高校2年生の2学期中間テストの日程)

中学生

月	火	水	木
通常授業	国語	英語	通常授業
	数学	理科	
	社会		

中間テストの場合、中学生は5教科を2日間で行いますが、高校生は10科目以上のテストを受けなくてはなりません。
そのため、テスト期間中や前日に休日を設定する高校がほとんどです。

高校生

土	日	月	火	水	木	金	土
休み	休み	英語表現	数学Ⅱ	英コミュ	数学B		休み
		現代文	地理	化学	世界史		
		物理		古典			



土曜は通常はお休みですが、午前中だけ特別授業を行うときがあります。その分、テストの前の日や、テスト期間の真ん中に休日を設けたりする高校もあります。

またテスト前には科目ごとに大量の課題が出され、それをテスト直後に提出しなければならないことが多くあります。提出が義務付けられていなくても、範囲が広く種類も多いため、テストの準備は中学生の頃と比べ物にならないくらい大変になります。

☆「赤点」をとると留年！？

多くの高校では「単位制」と「学年制」というものを併用していて、進級し最終的に卒業するためには、学年ごとに定められた単位を取得しなければなりません。

学年末の成績（成績通知表）の結果がある点数以下（いわゆる赤点）の場合、その科目の単位はもらえません。最悪の場合、留年や卒業できないという事態になることもあります。

テスト範囲がこんなに違う！！

<福井県の平均的な高校1年生の中間テスト出題範囲【例】>

科目	出題範囲 および 課題
英語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 Lesson5&Lesson6 教科書ワークブック 同範囲 初見の文章 システム英単語 <p>200語の暗記が必要</p>
英語表現	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 「助動詞」、「受動態」 教科書ワークブック 同範囲 英語構文 <p>40文の暗記が必要</p>
数学I	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 P6-45 問題集 同範囲 <p>110問題の演習</p>
数学A	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 P48-85 問題集 同範囲 <p>80問題の演習</p>

- 教科が細分化して「英語」も2科目になった上に、1科目の試験範囲が中学のときと比べものにならないほど広い！
- 他の科目(現代文・古典・数学I・数学A・現代社会・化学基礎・生物基礎など)の課題とテスト勉強も同時進行で行わなければならない、効率良く学習ができなければ赤点を取ってしまうことも！！
- テスト前でなくとも、週ごとに提出しなければならない「週(末)課題」というものがあり、日々の授業の予習と課題を両立させることは予想以上に難しいので、部活に入る人は覚悟しましょう！！



英語

定期テストの形式がこんなに違う！！

◆中学生 中学までのテストでは…

Mary: Yes. For example, I came to Japan to study Japanese. Of course, I can study it in my country. But if I stay in Japan, I can also learn Japanese and Japanese way of thinking.

Kazuki: That's good. I want to study in foreign countries. Thank you, Mary.

注) *The Japan Philharmonic Orchestra 日本交響楽団 (オーケストラ団体名)
 *conductor 指揮者 *only a few ~ほんのわずかの~ *composition
 *Russia ロシア *conduct 指揮する *Russian composer ロシアの作曲家
 *blog ブログ *communicate with ~ ~とコミュニケーションをとる
 *by the way ところで

注釈がある

(1) に入る最も適切なものを、次のア～エから選んで記号で答えなさい。

- ア What music did she conduct in the concert?
- イ Who conducted the music in the concert?
- ウ What kind of music did she like?
- エ How did she study how to conduct the orchestra?

設問は日本語

★例えば…高校入試で読む量は、約900~1000words

◆高校生 高校の定期テストでは…

Tomomi: I love teddy bears. What do we do?

Cathy: First, you set up e-mail communications. Then, you exchange soft toys with your partner school. After the teddy bear arrives at your school, you will write a "diary" in its place and send it to your partner school by e-mail. They will also do the same thing for your teddy bear.

Tomomi: I see. We can learn a lot about life in other countries.

Cathy: That's right. The diary shows the bear's experiences, such as classroom activities or homestays.

Tomomi: That sounds wonderful! I want to start the project soon.

Cathy: Maybe I can help you with this, Tomomi. Let's start right away!

注釈はなし！

1. Through this project what can we learn about?
2. What would you like to write about in the bear's diary if you start a Teddy Bear Project?

設問も英語！

★高校入学して1ヶ月…最初の定期テストで読む量は、

1500words Over!!!



～先輩(高2/塾生)のコメント～

『育英の授業に出ている予習(復習)ができるから、何とか学校の授業についていけるけど、もし出ていなかったら絶対テストの結果も崩壊している。』(U高校/M・S)

『定期テストは難しかったけど、対策授業でやったことがそのままテストに出てびっくりした。まじでヤバいくらいに当たっていた。』(S高校/T・A)

高校生と中学生の定期テストの違い（続き・・・）

数学

定期テストの出題難度はこんなに違う！！

◆中学生 中学までのテストでは…

中学の時は答えだけ

正解していればよかった

100

問題： 次の2次方程式を解け。

- (1) $x^2 + 4x + 4 = 0$
- (2) $-x^2 + x + 2 = 0$
- (3) $5x^2 + x - 4 = 0$

<生徒解答例>

$$\begin{array}{ll} (1) (x+2)^2 = 0 & (2) x^2 - x - 2 = 0 \\ x = -2 & (x-2)(x+1) = 0 \\ & x = -1, 2 \end{array}$$

$$(3) x = \frac{-1 \pm \sqrt{1^2 - 4 \times 5 \times (-4)}}{2 \times 5} = \frac{-1 \pm 9}{10} = -1, \frac{4}{5}$$

中学では、解答は主に求めた答えが正しいかどうかを見てもらうものです。ほぼ全ての問題で**答えのみ**が要求され、証明などで記述が必要な場合も、型通りに書いていけばよい問題がほとんどです。

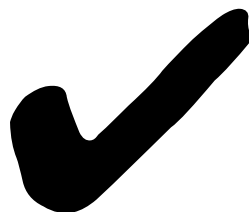
◆高校生 次は高校の1学期中間試験問題の1つです。

問題： x の方程式 $ax^2 + bx + c = 0$ (a, b, c は実数の定数) の解を求めよ。

<生徒解答例>

解の公式より

$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a} \text{ となる。}$$



0

この解答は高校に入学して間もない生徒の解答です。解答できているように見えますが、**高校ではこの解答では不正解**となります。

では、どんな解答がテストでは求められているのでしょうか？
下に記載したのが正解例となります。

◎正解例

<解答>

$$ax^2 + bx + c = 0 \cdots (*) \text{ とする。}$$

(i) $a \neq 0$ のとき、

(ア) $b^2 - 4ac \geq 0$ ならば、 $x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$

(イ) $b^2 - 4ac < 0$ ならば、(*) を満たす実数 x は存在しない。

(ii) $a = 0$ のとき、

(ア) $b \neq 0$ ならば $x = -\frac{c}{b}$

(イ) $b = 0, c = 0$ ならば、解はすべての実数

(ウ) $b = 0, c \neq 0$ ならば、(*) を満たす実数 x は存在しない。

ここで使われている方法が
高校で初めて登場する「場合分け」です！
これらをすべて書いてようやく正解です。

生徒解答例と比較してみると、生徒解答例が解答の一部しか書かれていないことがわかります。正解、すなわち満点を得るためには定期試験といえども上の解答例のように記述する必要があります。高校での数学の解答は、**答えに至るまでの自分の思考の過程**を採点者に伝えるものです。定期試験の中では、答えだけを解答する簡単な問題もありますが、**途中過程も書かなければいけない形式の問題も多い**です。さらに、1つ1つの問題も単純ではなく、色々な考えを組み合わせたり、様々な場合を考えたりして解かなければならないため、どこまで分かっているかによって部分点を与え、それぞれの理解度を点数化していく必要があります。

～先輩(高2/塾生)のコメント～

『最初の試験で泣きました。中学校のときに得意教科だったから高校でも大丈夫と思っていたのに、勉強の仕方が全然わからず点数も思った以上に悪かった。』(T高校/N・Y)

『解けないというより、問題集の解説が理解できない！一人で考えず、学校でも塾でも質問するようになってからは成績が上がってきたような？気がします。』(T高校/M・T)

国語

定期テストの文章量がこんなに違う！！

◆中学生 中学までのテストでは…

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

昔、男ありけり。身はいやしなから、母なむ宮なりける。その母、長岡といふ所に住みたまひけり。子は京に宮仕へしければ、まうづとしけれど、しばしばえまうです。ひとつ子にさへありければ、いとかなしうしたまひけり。さるに、十二月ばかりに、とみのこととて御文あり。驚きて見れば歌あり。

老いぬればさらぬ別れのありといへばいよいよ見まくほしき君かなの子、いたううち泣きて詠める。

世の中にさらぬ別れのなくもがな千代もと祈る人の子のため

【『伊勢物語』より】

注1 まうづとしけれど 参上しようとしたけれど。
 注2 ひとつ子にさへありければ たった一人の子でもあったので。
 注3 とみのこととて 急の用事があるといいて。
 注4 老いぬれば 老いてしまうと。
 注5 さらぬ 避けられない。

上の文章は、育英模試の古文の問題です。中学では、難しい表現には「注」が付いているため、細かい単語の意味や文法を知ってなくても読むことができました。また、古文・漢文に限らず、現代文でも、高校入試の問題は、ほとんどが、記号選択、抜き出しの問題でしたね。

◆高校生 高校のテストでは…

第3問 次の文章は、源氏と平氏がそれぞれの身内で敵味方に分かれて戦った内乱を描いた『保元物語』の一節である。前半は、勝利した後白河天皇方の源義朝が、敗北した崇徳院方の父源為義と対面する場面であり、後半は、義朝の家来二人のやりとりを中心とする場面である。これを読んで、後の問い(問1～6)に答えよ。(配点 50)

左馬頭、ともかくも物も言はず、涙をばらはらと流して、「さらば、汝、よきやうに計らひ申せ」とぞのたまひける。正清に参り、「義朝、今度の合戦の大將軍として、忠節を致す。数輩の若党討ち死にし、手負ひ候ふ。しかりといへども、いまだ勲功の賞にも預からず候ふところに、御首を刎ねてまらせよと、度々仰せ下され候ふのあひだ、今度の忠賞に申し替へて、御命ばかりをこそ申し助けまらせて候へ。ただし、平氏清盛、させる忠功も候はねども、大國あまた賜り、一族朝恩に誇る。義朝など、頭をさし出だすべきやうも候はず。それに、かくて御わたり候へば、石の中の蜘蛛とやらんのやうに思え候ふ。人の口は悪きものにて候へば、いかなる讒言や出で来候はんずらん。東山なる所に、庵室を構へ持ちて候ふ。貴き所にて候へば、かれに渡らせ給ひ候ひて、しづかに御念仏候へかし」と申されければ、入道、まづ涙をばらはらとほして、「あはれ、人間の宝には、子に過ぎたるものこそなかりけれ。子ならざらん者、誰かはかく身に替へて助くべき。生々世々にもこの恩忘るまじきぞよ」とて、手を合はせ喜び給ふ。義朝、心中に、「無慙のことかな。たまた今斬られ給はんことを知り給はず、かくのたまふよ」と思ひければ、A 涙のすすむを、さらぬ体にもてなして、「さらば、正清、御興まらせよとのたまへば、「承り候ふこと、白木なる腰車を引き出だす。さすがに、なごりの惜しければ、出で遣り給はざりけるを、正清、「疾う疾う」と申すほどに、心ならず乗り給ふ。

夜半ばかりのことなれば、いづこをそことは知らねども、東の方へは行かずして、七条西の朱雀へ引きて行く。波多野次郎、力者どもに輿を昇かせて、出で来たりけり。鎌田、朱雀にて車より輿に乗り移り給はんところを討ち奉らんと、太刀を構へ、待ちかけたり。波多野次郎は、いまだこのことよくも心得ざりければ、鎌田が袖を控へて言ふやう、「や、殿、これはいかなる御計らひぞ。このこと、総じて心得ず。すでに失ひ奉らんとこそあんなれ。まことに、入道殿の朝敵とならせ給ふことは、力及ばざることなり。されども、今度、頭殿の大將軍を承らせ給ふといふも、誰故ぞ。入道殿の御威勢なり。東國の輩多く付き奉るといふも、また、入道殿の御譲りの故ぞかし。さこそ勲力無しといふとも、正しき父の首をばいかでか斬らせ給ふべき。返す返すも口惜しきことかな。明日は天下の口遊となり、人に指を差されさせ給はんずる頭殿の御悪名こそ心憂けれ。そもそも、昔、伊予殿、相模守にて、鎌倉にわたらせ給ひし時は、東八箇國の侍、八幡殿を主と頼まぬ者やありし。その子にてましまし、せは、入道殿も我等が主、その子にてましませばこそ、頭殿も主なれ。中にも、和殿は入道殿の御跡懐にて生ほし立てられまらせて、御好深き人ぞかし。いかでかやみやみとして討ち奉らんとはし給ふぞ。助け奉るまでこそなくとも、せめては、かくと申して、最後の御念仏をも勧め奉り給へかし」と言ひければ、B 理とや思ひけん、鎌田、「さらば、和殿、その様を申し給へ」と言ふあひだ、義通、車の轆に取り付きて、泣く泣く申しけるは、「いまだ知らせ給ひ候はずや。頭殿の御承りにて、正清が太刀取りにて、ただ今、車と輿の間にて討たれさせ給ふべきにて候ふなるは」とて、袖を顔に押し覆ひて、涙にむせびてうつ伏しければ、入道、大きに驚きて、「口惜しきことござんなれ。義朝は、さては、だしぬきけるよな。あはれ、八郎がよく謂ひつるものを。かくあるべしと知りたらば、六人の子供、前後に立て、矢種のある限り射尽くして、討ち死にして失せたらば、名を後代にあげてまし。さては、大死にせんずるにこそ。今度の合戦に院方勝たせ給ひたらば、いかなる勲功・勲賞にも申し替へて、なか義朝一人を助けざるべき。あはれ、親の子を思ふほど、子は親を思はざりけるよ。諸仏念衆生、衆生不念仏、父母常念子、子不念父母」と、仏の説かせ給へるは、少しも違はず。ただし、C かくはあれども、全く我が子悪かれとは思はぬなり。願はくは、上梵天・帝釈、下堅牢地神に至り給ふまで、義朝が逆罪を助けさせ給へや」とのたまひも終らず、涙にむせび給ひけり。

テストの文章量は1ページの半分くらい

一方、上の文章は、センター試験の古文の問題です。文章の長さ、難しさが格段に違うことがわかるでしょうか。中学と高校の最も大きな違いは、古文や漢文を詳しく学ぶということです。中学までと異なり、単語の意味や文法をしっかりと身につけておかないと文章を読むことができなくなり、最初は外国語を勉強しているような気持ちになるでしょう。また、古文・漢文に限らず、現代文でも、長い字数を使って説明させる問題がぐっと増えてきます。特に、国公立大学の二次試験では、ほとんどが記述説明問題となりますから、「何となく」では正解できません。

文章の量は2ページに！